

令和八年 南都 春日大社・興福寺古儀

たきぎ

お

のう

新御能



◎五月十五日(金)

咒師走の儀

午前十一時

春日大社舞殿

金春流能 「翁」

金春憲和 他

南大門の儀

十七時三十分

興福寺南大門跡「般若之芝」

宝生流能 「頼政」

辰巳満次郎 他

火入れ 興福寺衆徒

大藏流狂言 「長光」

茂山千五郎 他

金剛流能 「杜若」

金剛永謹 他

◎五月十六日(土)

御社上の儀

午前十一時

春日大社若宮

金春流能 「東北」

金春飛翔 他

南大門の儀

十七時三十分

興福寺南大門跡「般若之芝」

観世流能 「養老」

観世喜正 他

火入れ 興福寺衆徒

大藏流狂言 「蝸牛」

茂山忠三郎 他

金春流能 「知章」

金春穂高 他

令和8年

5月15日(金)・16日(土)

「場所」 春日大社 舞殿・若宮拜舎

11時開演 (事前受付開場:10時、当日受付開場:10時15分)

興福寺 南大門跡「般若之芝」

17時30分開演 (事前受付開場:16時、当日受付開場:16時15分)

協賛券 事前受付 ▶ ¥6,000

郵便受付ほか

協賛券 当日受付 ▶ ¥6,500

春日大社・興福寺会場の受付

全席自由席 (団体を除く)

雨天の場合、南大門の儀は「なら100年会館」にて開催いたします。

「近鉄奈良」駅下車の場合 奈良交通バス「JR奈良駅」方面行きに乗車。「JR奈良駅」停留所で下車。JR奈良駅西側より徒歩すぐ。

「JR奈良」駅下車の場合 改札を出て西出口すぐ。

Takigi O-Noh (Fri May 15 & Sat May 16, 2026)

The Takigi O-Noh performance is Nara's most traditional event, passed down from more than 1000 years ago. It takes place annually in the evening on the 3rd Friday & Saturday in May at Kohfukuji Temple (17:30), and this is considered the origin of outdoor Noh in various places in Japan. The performance is by firelight, creating a profound air of mystery.

The morning performance (11:00-) is also held at Kasugataisha Shrine. Tickets can access both stages.

Advance (¥6,000 p/p) Same-day (¥6,500 p/p)

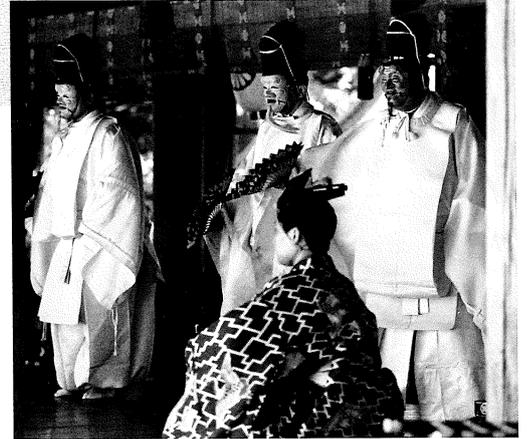
鑑賞のご案内 興福寺会場のみ、一般席(無料席 ※立見)がございます。雨天の場合、南大門の儀は「なら100年会館」に会場変更いたしますが、その場合、一般席(無料席)はございません。

呪師走の儀

(春日大社舞殿)

5月15日 11時始

ここで奉納される「翁」は、淨衣姿の三人の翁と、素襖姿の三番三と千歳とで勤める古いかたちを留め、また「十二月往来」は、現行観世流のものより一段と古雅な詞章を伝え、宝数えのためたい章句がつくのが特徴です。



新御能

たきぎ

お

のう

御社上の儀

(春日大社若宮拜舎)

5月16日 11時始

「社頭法楽」の最も古いかたちとも言える御社上の儀は、神殿を背にして、「四方正面」の型で行なわれ、また橋掛かりは通常の反対で右側となり、非常に珍しい舞台となります。



南大門の儀 (興福寺南大門跡「般若之芝」)

5月15・16日 17時30分始

近年、各地で野外能や薪能が行われていますが、古来、薪能といえば、興福寺南大門前の芝生で演じられてきたものを指し、各地の薪能は戦後これに慣らつたものです。

869年、興福寺修二会で薪猿楽が舞われたと伝えられており、能楽が大成される室町時代には、最も盛況を極めたといわれています。

15日は春日大社舞殿で「呪師走(しゅしはしり)の儀」(11時から)、16日は春日大社若宮で「御社上(みやしろあがり)の儀」(11時から)がそれぞれ奉納された後、両日とも17時30分から興福寺南大門跡「般若之芝」で「南大門の儀」が執り行われます。

観世(かんぜ)・金春(こんばる)・宝生(ほうしょう)・金剛(こんこう)の能楽四座による能と大藏流による狂言が演じられます。また、興福寺衆徒(僧兵)の手によって篝火に火が入れられ、観る人々を幽玄の世界へと誘います。



舞台あらため・外僉議

当初、薪御能では、舞台が野外の芝生であったため、紙を敷き踏んで芝の状態をみたさされています。現在ではその必要はありませんが、芝の湿り具合いで能の有無を決めていた事を今に伝えるため演能の前に興福寺衆徒(僧兵)により「舞台あらため」が行われ、人々にその結果を伝える外僉議文(げのせんぎぶん)が読み上げられます。これらの儀式は他では見ることのできない薪御能だけの特色です。



※演目・出演者は、都合により変更する事があります。
※お席は自由席(先着順)となります。また、春日大社会場においては座席数に限りがあり、一部のお客様には立ち見をお願いする場合がございます。
※協賛券は、特別な場合を除き、返金等にはお応えできません。

【薪御能講座】「能を楽しむ、奈良で楽しむ」開催!

能楽師の方から薪御能当日の演目の解説やお能の魅力などをお聞きます。

【日程】2026年5月15日(金)、16日(土)
【時間】14:00~15:30頃
【講師】辰巳満次郎 師(15日)、山中雅志 師(16日)
【場所】興福寺会館(三重塔横)
【参加費】2,000円

予約・問合せ

NARAタイム (<https://narashikanko.or.jp/naratime/ja>)
0742-30-0230 (平日午前9時~午後5時まで)
※予約は3月下旬頃より開始します。

スマホde解説

「一般財団法人 衆我財団」様の支援事業として、お客様ご自身のスマートフォンとイヤホンで演目の解説をお聴きいただけます。ご希望の方はスマートフォンとイヤホンをご持参のうえ、ご来場ください。
※スマートフォンの機種や設定によっては、ご利用いただけない場合がございます。※利用料金は無料です。